

水に影響されない車線の開発

～交通事故防止のために～

現状

- ・雨水や融雪装置の水で車線が見づらい。

理想的な状態

- ・車線が浮き上がっている

金沢市の車線の現状

- ・一般的な車線の厚み
1mm程度
- ・車線成分にガラスビーズ
が含まれてる

金沢市の車線の厚み
2.5～3mm

夜間でも見やすい

問題点

雨水や融雪装置の水が反射して白線が見にくい。

→ 現状では不十分ではないのだろうか。

私達が考えたアイデア

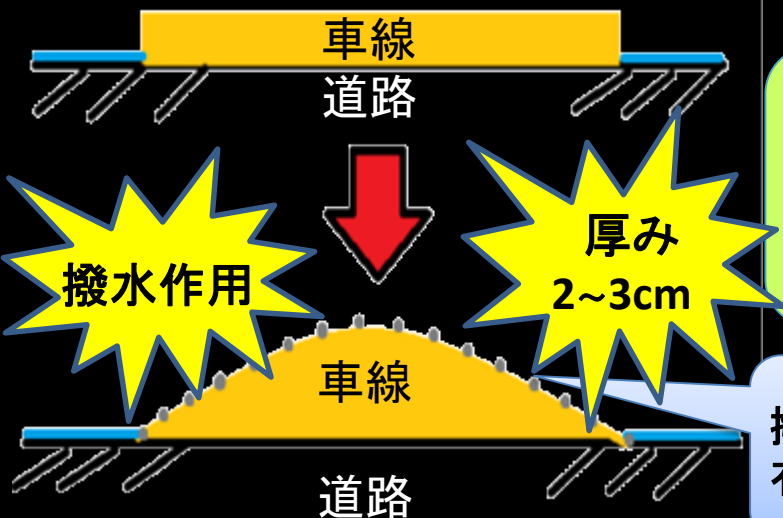
車線に丸みを帯びさせ、
さらに厚みをもたせる

撥水作用を有する
物質を使う

期待される効果

- ・車線の上に水が溜まりにくい。

→ 視認性が向上する



撥水作用を
有する物質

2014年度 プロジェクトデザインⅡ
クラス・チーム番号: BB303-6
チーム名: きらきら星
メンバー: 原絢香、石田凌平、影山
尚範、堅田大悟、蒲田龍太郎、河上
春樹
担当教員: 松本恵子 先生